

CODEがお手伝いします

ICT活用教育 eラーニング



ICT活用遠隔教育センター(CODE)

<http://www.code.ouj.ac.jp/>

放送大学ICT活用 遠隔教育センター (CODE)

目 的

- ・メディアを活用した教育の振興
- ・情報通信技術 (ICT) の活用を通じた教育の質向上

活 動

- ・ICTを活用した教育の改善、普及
- ・放送大学の教育、学習の支援
- ・大学などのICT活用教育、eラーニングの支援
- ・ICTを活用した教材や教育学習ツールの開発
- ・ICT活用による教育の質向上策の調査、研究

3つの柱で 大学のeラーニング、ICT活用を支援します

- ◇ 新しい学びを創造する 2
- ◇ eラーニングで学ぶ 3
- ◇ 学習が変わる 5



1 新しい学びを創造する

■ CODEのプロジェクト

効果的なeラーニング、新しい学びの実現に向けて研究、開発、普及を進めています。

大学のICT活用、eラーニングの推進など新しい学びの創造を支援しています。

- * 大学へのICT活用教育の支援
- * ICT活用教育のためのツール・システムの開発と提供
- * セミナーの開催
- * ICTを活用したFDの支援
- * UPO-NETによる教材の配信
- * 大学の国際競争力の強化のための国際連携の推進



■ eラーニングの総合的な研究

CODEでは、内外の高等教育のeラーニング活用事例の調査研究をもとに、それぞれの大学の実情に応じたICT活用教育方法の提案、FDなどに関する情報の提供やセミナーの開催、学習に役立つツール・システムの開発・提供を行っています。

eラーニングをはじめとするICT活用教育は新しい学びの方法です。「学力の向上」「学習意欲の向上」「自学自習の促進」「分かりやすい授業」「きめ細かい指導」などのよりよい教育の実現に役立つと期待されています。しかし、それぞれの教育機関、学習者に適した効果的、効率的な指導の仕方、学習の方法はまだ確立されていないといえません。

CODEでは、ICT活用教育の具体的な方法や効果的な利用の工夫、優れた実践例、先進的な学習方法などを調査・研究し、その成果を大学などに提供することで、よりよい学習環境の実現に取り組んでいます。

■ 放送大学の学習支援

放送大学では、より便利で学習効果の高い学習環境を提供しようと、インターネットを利用した教材の配信などを進めています。CODEでは、放送大学の学生が授業の内容の理解を深め、学習意欲を高めるようなオンライン教材の作成にも取り組んでいます。

◇ UPO-NET (オンライン学習大学ネットワーク)

<http://upo-net.ouj.ac.jp/>

■ UPO-NETの教材配信について

UPO-NETでは、大学などのeラーニングの普及、拡大を目指して、多くの大学が必要としている「基礎教育」「初年次教育」「リメディアル教育」「キャリア教育」などのeラーニング教材を開発、配信しています。配信教材は右ページの表をご覧ください。UPO-NETのホームページで教材のサンプルがご覧になれます。

UPO-NETでは効率的な教材配信と、個人情報の保護の両面に配慮した独自の配信システムを開発しました。教材の管理と学習記録の管理を分離したのが大きな特長です。

教材はUPO-NETの教材配信サーバに蓄積します。学生が学習する際に、各大学の学習管理サーバ(LMS)がUPO-NETの教材配信サーバにアクセスして教材を呼び出します。学生は大学や自宅のパソコンから大学のLMSにアクセスして学習します。このとき、学生が教材で学習したり、テストを受けたりした際の学習履歴や成績は利用大学のLMSにだけ蓄積されます。UPO-NETのサーバには記録されないため、個々の学習記録などが学外に漏れる心配はありません。

利用大学のLMSには、オープンソースの「Moodle」を採用しました。大学はMoodleが動作するサーバを用意し、UPO-NETが提供するモジュールプログラムをMoodleに組み込んで利用します。

■ UPO-NETの利用について

利用料金

UPO-NETのeラーニング教材には、有償教材と無償教材があります。

有償教材の利用料は、

1学生1科目 半期(6カ月)で600円です。

対象

高等教育機関等を対象としており、利用は大学、学部、高等専門学校などの機関単位の教育目的での利用に限定しています。

教材の閲覧

高等教育機関の教員の方々は会員登録をすることができます。

会員は、UPO-NETの教材を見ることができます。

教材の利用

授業などで教材を利用するには正会員登録が必要です。教材には「有償」のものと「無償」のものがあり、有償教材を利用する場合は、正会員登録のほかに有償利用の申し込みをしていただきます。

利用方法

利用機関でMoodleサーバを用意し、UPO-NETから送るモジュールをインストールし、発行するID、パスワードをMoodle上で設定していただきます。

◆ 詳細はUPO-NETサイトをご覧ください

<http://upo-net.ouj.ac.jp/>

◆ 会員登録

<http://upo-net.ouj.ac.jp/entry/>

■ UPO-NETの教材 (2010年7月現在)

◆ 有償教材

リメディアル数学	教科書準拠の問題集「改訂版 ニューアシスト 新編数学Ⅰ+A」(東京書籍)などを素材とした中学・高校レベルの教材です。 (1)初級編:数Ⅰ・数Ⅱ(中学数学,高校数学Ⅰ,高校数学Ⅱ) (2)中級編:数A・数Ⅱ・数B(高校数学A及び高校数学Ⅱ,B) (3)上級編:数Ⅱ・数C(高校数学Ⅲ,C)で構成しています。
リメディアル物理	教科書準拠の問題集「ニューアシスト物理Ⅰ」(東京書籍)を素材とした中学・高校レベルの内容です。
リメディアル化学	教科書準拠の問題集「ニューアシスト化学Ⅰ」(東京書籍)を素材とした中学・高校レベルの内容です。
リメディアル生物	教科書準拠の問題集「ニューアシスト生物Ⅰ」(東京書籍)を素材とした中学・高校レベルの内容です。
EnglishQuest INTRO	英語の基礎力を充実させたいという人に向けた桐原書店の「ENGLISH QUEST MASTERING THE ESSENTIALS OF ENGLISH」をeラーニング化した教材です。「INTRO」は、英語を基礎から学びなおしたいという人、TOEIC®200~300レベルの人を対象にしています。
EnglishQuest BASIC	英語の基礎力を充実させたいという人に向けた桐原書店の「ENGLISH QUEST MASTERING THE ESSENTIALS OF ENGLISH」をeラーニング化した教材です。「BASIC」は、英語の基本事項を確実に身につけ、使える英語を身につけたいと考える人、TOEIC®300~400レベルの人を対象にしています。
EnglishQuest PLUS	英語の基礎力を充実させたいという人に向けた桐原書店の「ENGLISH QUEST MASTERING THE ESSENTIALS OF ENGLISH」をeラーニング化した教材です。「PLUS」は、英語の文法基本事項を確認し、英語学習の土台となる基礎力を養成する教材です。TOEIC®400~500レベルの人を対象にしています。
TOEIC®スタート	TOEIC®に挑む学習者のためのTOEIC®300~400のクリアを目指す入門教材です。桐原書店「Over the TOEIC® Bridge TEST」に対応しています。TOEIC®500、600、700の教材も用意しています。「TOEIC®スタート」で学んだ後、ステップアップに取り組んでください。
TOEIC®400	金星堂が新規に開発した「The Next Stage to the TOEIC® Test」に対応した TOEIC®の入門教材です。
TOEIC®500	「TOEIC®TEST」を受験する学習者が、実際のテストに近い形式で問題を解くことで、テストに慣れるとともに、自分の実力を確認できる教材です。よく使われる語彙や、その語彙が使われる状況なども学べます。企業が新卒者に求める英語力といわれるTOEIC®500の合格を目指す学習者を対象にしています。
TOEIC®600	「TOEIC®TEST」を受験する学習者が、実際のテストに近い形式で問題を解くことで、テストに慣れるとともに、自分の実力を確認できる教材です。よく使われる語彙や、その語彙が使われる状況なども学べます。海外旅行で不自由なく買い物したり、注文できたりするレベルといわれるTOEIC®600の合格を目指す学習者を対象にしています。
TOEIC®700	英語での実際的なコミュニケーション能力をスコアで評価する「TOEIC®TEST」を受験する学習者が、実際のテストに近い形式で問題を解くことで、テストに慣れるとともに、自分の実力を確認できる教材です。仕事で最低限のコミュニケーションがとれるとされるレベルのTOEIC®700の合格を目指す学習者を対象にしています。
英語ワードマジック	クロスワードパズルを利用して英単語の学習を進める桐原書店の「英語ワードマジック」に対応した教材です。

大学生力検定	大学生が身につけるべき日本語力として文章理解力や文章作成能力に関する問題を解きます。桐原書店の「大学生力検定」に対応した教材です。
日本語検定	日本語検定委員会が主催する『日本語検定』の過去問題を利用した学習教材。
SPI2・CAB・GAB	採用試験で多くの企業が使っている総合適正検査SPI、CAB・GABのテストの事前対策学習のための教材です。クイック教育システムズが制作した「就活CD-ROMブックSPI2・CAB・GAB特訓編」に対応しています。
ニュース時事能力検定	新聞やテレビのニュース報道を読み解くための「時事力」を試す教材です。NPO法人日本ニュース時事能力検定協会などが主催する検定試験の過去問題を利用した教材です。

◆ 無償教材

リメディアル英語	効果的なeラーニングの学習方法を研究するために、UPO-NETと桐原書店が共同で構成した教材です。2010年4月から1年間、無償で提供します。UPO-NET教材と桐原書店の「Wiki Wiki English.net」を連携させています。
学び直す日本語	日本人大学生が日本語をもっと勉強しなければいけない、と気づかせることを目標に、大学生の視点で作成した読みやすい解説で、理解を広めます。
C言語スキル判定	「C言語に関する文法スキル」について、自分の技術知識、スキルがどのレベルかを自分で判定、把握するための教材です。
C++言語スキル判定	大学、高専などで学習した「C++言語に関する文法スキル」について、自分の技術知識、スキルがどのレベルかを自分で判定、把握するための教材です。「C言語スキル判定」で「合格」または「ほぼ合格」のスキルレベルを確認した学習者を対象にしています。
Java言語スキル判定	大学、高専などで学習した「Java言語スキル判定」について、自分の技術知識、スキルがどのレベルかを自分で判定、把握するための教材です。
Linuxスキル判定	「Linuxに関する基本知識・操作スキル」について、自分の技術知識、スキルがどのレベルかを自分で判定、把握するための教材です。
組込みシステムスキル判定	「組込みシステムスキル判定」について、自分の技術知識、スキルがどのレベルかを自分で判定、把握するための教材です。
インストラクショナルデザイン入門	効果的、効率的で魅力的な教育を行うための教育設計技法のインストラクショナルデザインを使ってeラーニングの授業設計、教材開発、学習支援などを学ぶビデオ講義教材。eラーニングに取り組む先生方のための教材です。

◆ 開発中、開発検討中の教材

- * キャリアデザイン
- * アカデミックスキル
- * リメディアル物理アドバンス
- * リメディアル化学アドバンス
- * リメディアル生物アドバンス

3

学習が変わる

■ 授業、学びを支援するツールとシステム

CODEでは、ICTを活用したよりよい教育の実現、教育の改善、豊かな学習環境の実現をサポートするため、さまざまなツールやシステムを開発、提供しています。

【授業ツールとシステム】



携帯電話で授業の連絡 (K-tai Campus)

大学から学生へ、また社会へ情報を携帯電話で発信するためのツールです。講義情報や緊急通知など大学から学生への連絡、公開授業や入試情報など社会に発信する情報などを携帯電話で見ることができます。学生の質問を受けたり、学生が携帯電話でアンケートに答えたりもできます。携帯電話で学べる環境の開発も進めています。



学習者とのインタラクティブな授業を (REAS)

アンケート票の作成から集計までをインターネットでできるシステムです。簡単な操作で多様な形式のアンケートを実施できます。携帯電話でも利用できます。授業で学生の興味や関心を高める、教材やシステムを評価する、卒業論文や研究のデータを取る、など多様な授業場面で利用できます。



プロジェクト学習を効果的に (ProBo)

学生がグループで議論したり、情報を交換したりしながら協力して学習する「プロジェクト学習」をサポートするツールです。グループメンバーがいつでも、それぞれのいる場所で共同作業を進められるよう、各メンバーの作業内容、スケジュール、作業の進み具合などの情報を互いに知ることができます。作業に必要な資料や情報を共有したり、情報交換したりもできます。



アイデアを共有し、練り上げる (Kneading Board)

学習者が作業を分担し意見や情報を交換しながらよりよい成果を生み出せるようサポートするツールです。パソコンの画面上に大きな模造紙を置いたようなツールです。学習者が画面にアイデアや意見を書いたり、画像などの資料を載せたり、他のメンバーがそれに質問したり、提案したりしながら考えを練り上げることができ、新しいテーマの発見、アイデアの創造を支援します。大学生から小中学生まで使えます。



分子の姿を立体的に見せる (ARMol)

さまざまな構造の分子を立体的に見せて、学習者が分子構造を直感的に把握できる分子構造観察ツールです。表示された分子の映像を動かして、見たい方向から観察できるので、より理解が深まります。学習者がいる現実の環境の中に分子構造を表示するという独特の方法を採用し、学習者が分子構造を把握しやすくなりました。

CODEが提供する支援

■ セミナー

<http://www9.code.ouj.ac.jp/seminar/>

講義や演習などでeラーニングやICTを活用するために必要な知識や技術を専門家がお話します。効果的、効率的、魅力的な教育の実現を支援します。放送大学が行うセミナー、ワークショップのほか、大学などの要望に応じて講師を派遣する出張セミナーも実施しています。

* 主なセミナー、ワークショップ

- ・ ICT活用教育 ・ 著作権 ・ UPO-NET
- ・ ICT活用FD推進 ・ 素材作成ワークショップ
- ・ インストラクショナルデザイン入門
- ・ インストラクショナルデザインワークショップ など

■ ICT活用によるFD

高等教育機関のFDの推進を支援するために、セミナーを実施するほか、ICT活用によるFDのアイデアやノウハウをQ&A形式でまとめた「ICT活用のためのFDガイドブック」(ヒント集)と、3分～5分程度のビデオで授業改善のノウハウを解説したティーチングチップス・ビデオ集を提供します。

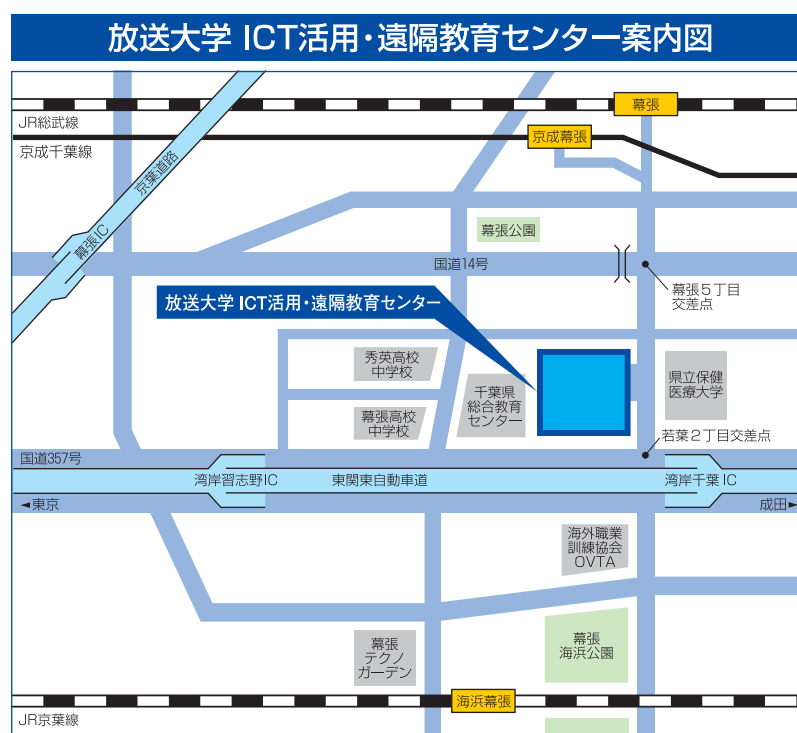
* 授業改善のためのティーチング・チップス

<http://t-tips.code.ouj.ac.jp/video/>

■ 多様な学生への支援

多様な人が学ぶようになった大学で、障害者に対する新しい教授法やクラスのコミュニケーションのあり方など、障害のある学生の支援についての情報を提供します。





〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11
放送大学 ICT活用・遠隔教育センター

お問い合わせ、ご利用のお申し込みは

ict-support@ouj.ac.jp

支援の内容は下記サイトでご覧下さい

<http://www.code.ouj.ac.jp/>